

(株)アズパートナーズ
2017年3月27日

**介護業界初！ICT/IoT 新システム『EGAO link』に関する記者会見を実施
3月29日、30日に現地取材会を開催予定
～ご入居者様の24時間の状況がスマホ1台で把握、記録にも連動！～**

株式会社アズパートナーズ(本社:東京都千代田区、代表取締役:植村 健志、以下「アズパートナーズ」)は、2017年3月22日都内にて、「パラマウントベッド株式会社」「アイホン株式会社」「株式会社富士データシステム」「住友電設株式会社」(以下「パートナー会社4社」)とともに、介護業界初となるIoT/ICT新システム『EGAO link』に関する報道関係者向け記者会見を実施いたしました。

総勢24社の報道関係者の皆様にご来場いただき、盛況のうちに会見を終えることができました。

また、2017年3月29日(水)、30日(木)にアズハイム町田(東京都町田市)にて『EGAO link』の実際の介護現場における活用シーンに関する現地取材会を開催予定です。

昨今、各メーカーが色々な機器等を開発しておりますが、個別の機器では効率UPの効果に限定的な状況であると見受けられます。今回記者会見にて発表いたしました『EGAO link』は、現場の介護スタッフの24時間の行動と目線から開発し、パートナー会社4社と約1年3ヶ月にわたりシステムの構築にチャレンジし、業界で初めて実現させました。

『EGAO link』は、「ご入居者様の24時間の状況が、手のひらのスマホ1台で把握でき、記録と連動する！」業界初のシステムです。

このシステムによって、記録入力や確認、ナースコール対応、ご入居者様の状態把握が全て1台のスマートフォンに集約され、大幅な業務効率化を実現することが可能となりました。

2017年2月より、既存の介護付きホーム「アズハイム町田」に導入し、効果測定を継続しており、3月15日時点までで得られた効果としては、約17時間/日、即ちスタッフ2名分の労務時間の削減につながっております。

アズパートナーズは、この得られた時間を、ご入居者様への「個別対応」や「チーム内のコミュニケーション」「人材育成」の充実にあて、ご入居者様や働くスタッフの『笑顔』に繋げてまいります。

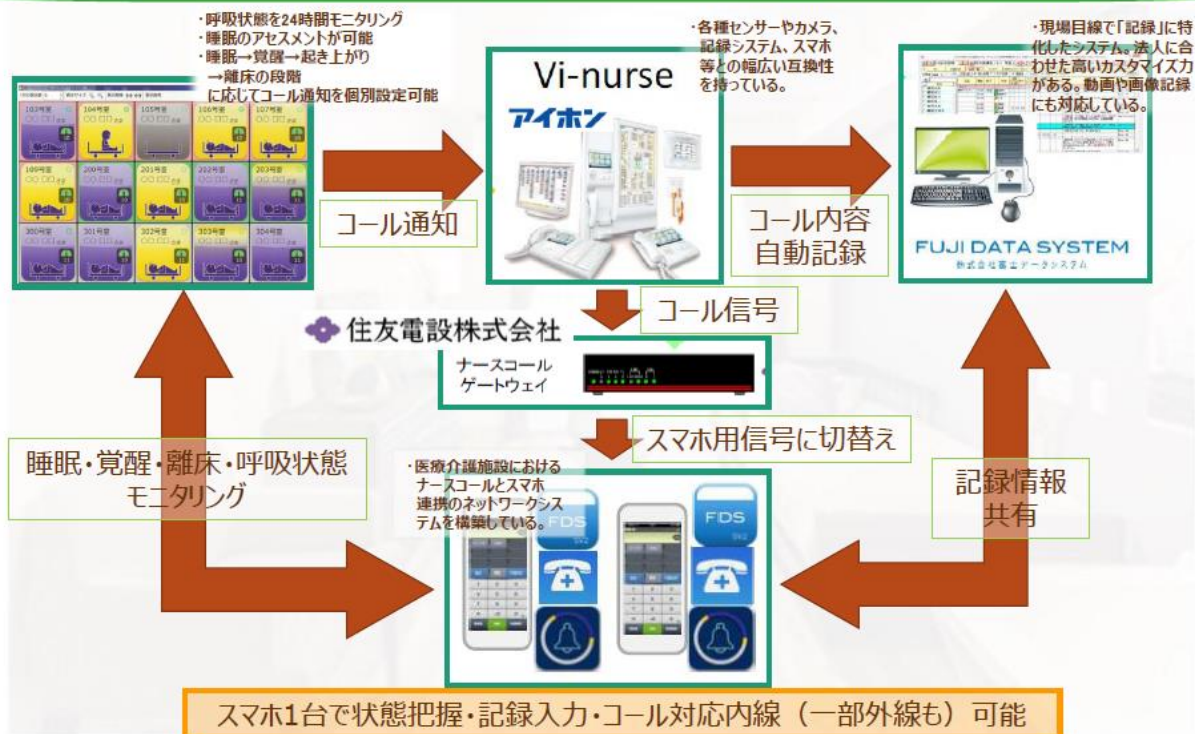


当日の記者会見会場の様子



『EGAO link』開発に携わった関係5社 一同

『EGAO link』 連携の仕組み



COPYRIGHT ©AS PARTNERS CO.,LTD.All Rights Reserved

『EGAO link』導入によって得られた効果 (3/15時点)

項目	機能	効果
安否確認	睡眠の可視化 呼吸数の測定	約5時間/日 時間効率化 体調不良・急変の早期発見
転倒事故の減少	覚醒・起き上がり・離床の動作をスマホで把握 ナースコールで通知	居室内での転倒事故防止または早期発見・早期対応 夜間事故件数 導入1ヶ月0件
サービス提供の記録	スマホでリアルタイム入力	約7時間/日 時間効率化 生活・行動パターンデータ化 リアルタイムでの情報共有 ナースコール自動記録
夜間の排泄ケア	睡眠・覚醒・起き上がり・離床のモニタリング	定時での排泄から、覚醒している時に 個別アプローチできる
ナースコール	睡眠・覚醒のモニタリング スマートフォンで通話対応	センサーコールを含むナースコール平均90回/日 導入1か月後 25回/日 約5時間/日 業務効率化

ケアスタッフ労働時間※1日11名	システムが創出した時間	効果
88時間	17時間	ケアスタッフ2名分/日の労働時間削減

17時間/日を『個別ケア』や『チーム内のコミュニケーション』
『人財育成』にシフトさせることが出来る！

COPYRIGHT ©AS PARTNERS CO.,LTD.All Rights Reserved

◆『EGAO link』を通して発信したいこと・今後の展開

アズパートナーズは、『EGAO link』を導入する際に、メーカーの技術目線ではなく、運営スタッフ目線を大切に考えました。介護の現場には10代から70歳近い方、正社員からパートまで幅広い層のスタッフがおられます。一部のレベルの高いスタッフ、専門性の高いスタッフだけでなくすべてのスタッフが抵抗なく使えることが大切です。

また介護業界は、転職が多いという特徴があります。ケアの部分ではある程度のスタンダードがありますが、記録に関してはそうではありません。他の機器・システムとの互換性・拡張性が高く、新規施設だけではなく既存施設でも導入が容易な『EGAO link』が普及し、業界スタンダードとなることは、介護業界で働くスタッフ全体の負担軽減にもつながり、離職率低下、ひいては介護業界への定着率向上の一助となると考えます。

今後の展開といたしましては、私共が主軸で展開している介護付きホーム(介護付有料老人ホーム)から、『EGAO link』を広げていきたいと考えております。本当に必要なものだからこそ、業界に対してオープンにし、その成果やエビデンスをもって行政・業界団体にも働きかけてまいります。

そうした業界全体での取り組みを積み重ねることが、『EGAO link』導入におけるコスト削減への新制度や政策・効果的な補助金制度の創設に繋がっていくものと信じ、さまざまな形で発信してまいります。

『EGAO link』を通じて「笑顔がリンクしていきますように」それがアズパートナーズの願いです。



弊社代表取締役 植村健志



EGAO link ロゴマーク

■『EGAO link』現地取材会 開催予定

日時:2017年3月29日(水)、30日(木)

※お時間は取材内容に応じて個別に調整させていただきます。

内容:『EGAO link』の実際の介護現場における活用シーンに関する取材

会場:アズハイム町田(東京都町田市根岸町 1009-7)

交通:・JR 横浜線「淵野辺」駅 神奈川中央バス、29・65 系統利用 5分

「桜美林学園前」バス停下車 徒歩 1分

・JR 横浜線「町田」駅 神奈川中央バス、29・30・39・60 系統利用 19分

「忠生都営住宅前」バス停下車 徒歩 3分



アズハイム町田 アクセスマップ

この件に関するお問合せ先

株式会社アズパートナーズ 事業推進部 広報・営業企画グループ

川俣・曾根

TEL03-5501-1881 FAX03-5501-1888

◆株式会社アズパートナーズについて

2004年創業。首都圏を中心に、介護付きホーム、デイサービスといったシニア事業を展開。2009年に国の政策実施機関である投資育成会社が株主となる。2013年12月には新規事業となる初のショートステイを開設。2017年4月には創業から14期目を迎え、「世代を超えた暮らし提案型企業」を使命に新たなステージに向けて更なる事業を展開していく。

働くスタッフの満足がご入居者様・ご利用者様の満足に繋がることを意識し、社内イベントや社会貢献活動を積極的に開催。職場を越えたスタッフの交流、コミュニケーションの機会を増やし、社員満足・人間力の向上に努めている。また、シニア事業をお客様のニーズから生まれるサービス業として位置付け、高いホスピタリティとアズハイムのサービス理念を全スタッフが実践するようにしている。社名の由来でもある「あらゆる方々の良きパートナーとして・・・」を思い、今後も社会に貢献し、存在意義のある企業として成長を目指す。

名称:	株式会社アズパートナーズ
主な事業内容:	介護付きホーム「アズハイム」ブランドを中心とした高齢者ホームの運営、シニア事業全般、不動産コンサルティング事業等 (*現在、首都圏を中心に介護付きホーム14棟とデイサービスセンター9箇所、ショートステイ3箇所を展開。)
設立年月日:	2004年11月2日
所在地:	本社 / 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-2 東宝ツインタワービル 6F
代表者:	代表取締役 植村 健志 (全国特定施設事業者協議会 副代表理事)
売上高:	72億円(2017年3月期予測)
ホームページ:	コーポレートサイト http://www.as-partners.co.jp/ アズハイム専用サイト http://www.as-heim.com/